

平成30年度 島根県私保連調査部 アンケート 「保育の職場体験を終えて」 集計結果報告

～はじめに～

平素は、島根県私立保育連盟に多大なるご協力を賜り、ありがとうございます。また今年度は県内各地で災害も多く発生いたしました。被災なされた皆様には改めてお見舞い申し上げます。

「平成最後の～」という言葉が流行っておりますが、今後の新時代を迎えていくに当たり、保育業界も変革の真ただ中であることを実感しております。こうした中で、引き続き質の高い保育をしていくための一助になればという思いで調査部も活動しております。

さて、今年度の調査部の活動としましては、秋に発表いたしましたトリニティカレッジ出雲への視察と、今回のアンケート調査です。

小学校とは近い関係にある保育施設ではありますが、中学・高校と上がるにつれて関わりは薄れていきます。そこで、数少ない中学・高校とのつながりである職場体験の機会を通じて、学生の保育に対するイメージや、子育てへの興味がどのくらいあるのか？また、将来保育士になってみたいと思う気持ちや、島根県に残って仕事や子育てをしたいと思うのか？その実態を調査しましたので、以下にご報告いたします。

島根県私保連 調査部長

◎集計結果

回答施設・・・30園

総回答数・・・106名

	中学生	高校生	専門学生	計
第1ブロック	1	2	0	3
第2ブロック	36	12	2	50
第3ブロック	22	5	0	27
第4ブロック	24	2	0	26
合計	83名	21名	2名	106名

概 要

1. アンケート内容

保育の仕事体験を終えて

2. アンケート対象

お仕事体験に来られた中学生・高校生・専門学生・大学生・引率の先生

3. アンケート趣旨

小学校とは密接な関わりを持つ保育の現場ではあるが、中学・高校と進むにつれてその関わりは薄れていく。そうした現状を踏まえ、将来保育の仕事に就いてもらうための関係づくりや、保育業界が今後行わなければならない情報発信のニーズを把握し、保育の魅力を伝えられるようにする。

また、保育の仕事に就かなくとも、将来島根で子どもを生き育てたいと思えるような関係を構築するためのきっかけづくりに活用できる情報を収集する。

4. アンケート締切・提出方法

平成30年12月28日(金) ※参加者が記入しFAXにて浜田ひかり保育所まで提出

5. 集計及び報告時期

アンケート内容

Q1, 保育の仕事を経験してみたの感想をお願いします。

Q2, もう一度、保育の職場体験ができるとしたら参加しますか？

Q3, 保育士になりたいと思いますか？

Q4, 保育士になるためにはどのような勉強が必要だと感じましたか？

Q5, 将来、子どもが出来たら保育園・こども園に預けたいと思いますか？

Q6, 将来、島根で子育てをしたいと思いますか？

Q 1. 保育の仕事を体験してみでの感想をお願いします。

専門学生

- ・たくさんいる子ども達全員を同じ活動に向かわせる難しさを感じた。
- ・流しそうめんの竹をやすりで削る作業から、子どもと一緒にいき、貴重な経験ができた。
- ・久しぶりに小さい子と触れ合い緊張した。
- ・おむつ交換から食事の手助け、寝かしつけと常に子供から目を離さず触れ合う大切さを感じた。
- ・プール遊びにも参加でき楽しかった。

高校生

- ・気持ち解らず困ることもあったが、とてもやりがいを感じる体験だった。
- ・保育士さんが普段子ども達の知らないところで何をしているかを少し知れてよかった。
- ・「保育士」以外にも保育・子ども達と関わることのできる仕事を知れた。
- ・想像と違うことが沢山あり、「こんな所まで保育士がしなくてはならないのか」と、とても勉強になった。
- ・初めて会う子どもたちと仲良くなるのが難しく、心を開いてもらえるように自分から話しかけられなかった。コミュニケーションに工夫が必要だと感じた。
- ・大変だった。
- ・毎回悩みが違ったので改善し、実践することができた。
- ・子どもと遊ぶことは楽しいし、もっと成長していく姿を見たいと強く感じた。
- ・お昼寝の時間に連絡帳やおもちゃを作っている姿にやりがいを感じた。
- ・中学生の時も職場体験で1才児を担当した。その経験を活かせたらと思い、再び1才児を担当した。子どもの様子を見ながら動けたと思う。子どもと触れ合うことで喜んでくれたり笑顔になってくれたり、こちらが元気になれた。大変なことはあると思うが、楽しい職業だなと思った。
- ・短い時間だったが、たくさん話して遊ぶことができ、充実した時間だった。
- ・子どもと仲良くできるか不安だったが、子どもの方から話しかけてくれて不安がなくなった。2歳児を担当し、自分の想像以上に言葉が話せていたのが勉強になった。
- ・3歳児がかわいかった。自立し始める時期なので着替えなどは自分でやっていたが、少し手伝うことがあり楽しかった。
- ・中学生の時の体験では5歳児だった。今回は1才児で、楽しかった。
- ・泣いている子を抱っこしたら泣き止んでくれてほっとした。
- ・「全部に手を出してはいけない」というのがとても難しかった。
- ・今後のためになるとも良い経験ができた。
- ・予想外の子どもの行動も多く、状況判断力が必要だと感じた。
- ・癒された。
- ・一から教えてもらい嬉しかった。
- ・教えていただいたことを将来に役立てたい。

中学生

- ・子ども達とふれあい、この仕事は楽しいと思った。ここに来られうれしい。
- ・将来は子どもに関わる仕事がしたい。
- ・紙芝居を読み聞かせるとき棒読みになり難しかった。
- ・勉強だけではなく、子どもと話すときの態度も意識しなければならないと感じた。
- ・知らないこともよく観察することができた。

- ・年齢ごとの違いに驚いた。
- ・ケンカが起き、泣いてしまう子が出たときは大変だった。
- ・みんながすぐに名前を憶えてくれてうれしかった。
- ・保育士さんの大変さがわかった。
- ・子どもが優しく声をかけてくれた。
- ・抱っこやおんぶができて良かった。
- ・悪いことをしたらきちんと注意したりすることや、できたときにしっかりと褒めてあげることが分かった。
- ・笑顔が大切なことがわかった。
- ・最初は緊張したが、時間を共有していく中でコミュニケーションができるようになり、とてもうれしかった。
- ・子ども達のお世話だけでなく、イベントに向けての練習の中で叱る場面もあり、優しい時としっかりする時とで色々な接し方があるから、子ども達も大人になっていくのだと感じました。
- ・保育士さんの大変さが解りましたが、保育士さんが楽しそうに仕事をしておられ、保育士の仕事の楽しさを知ることができた。
- ・どの仕事も子供の事を思ったものだった。社会人としての礼儀やマナーとともに、小さい子どもとの接し方や上下関係の事などを良く知れた。
- ・実際に体験してみても感じる事が沢山あり、やりがいを感じた。
- ・子どものやりたいことがそれぞれ違い、少し困った。
- ・保育士さんが常に周りを見ていてすごかった。
- ・一人一人の事をわかって説明してくれてすごかった。
- ・先生方に助けてもらうばかりだったので、とても大変な仕事だなと感じた。
- ・簡単そうに思っていた分、保育士さんの大変さがわかった。でも楽しかった。
- ・とても充実した3日間で、あっという間だった。
- ・笑顔を絶やさずにいることが大事だと思った。
- ・小さいクラスになるほど、仕事が大変になっていったと感じた。
- ・子どもと走ったりすることが多く、体力が必要だと気付いた。
- ・笑顔を絶やさないことを実践できた。
- ・苦痛
- ・ダンスが難しかったが、園児はうまかった。
- ・自己紹介の後に「〇〇ちゃんのお姉さん？」と聞きに来てくれてうれしかった。
- ・子どもが愛らしく、とても楽しく温かい気持ちになれた。
- ・手作りのオモチャを仲良く、ルールを守って楽しんでくれてうれしかった。
- ・保育士になるための理想像ができた。
- ・園児が泣いているときの泣き止ませ方がわからなかった。
- ・「先生」と呼ばれることがうれしかった。
- ・懐かしかった。
- ・想像していた通りの所もあれば、少し違うところもあった。
- ・子ども一人に保育士一人は付けられないので、全体を見ることが大変だと思った。
- ・子どもは小さなことでけんかをするので、小さなところに気付くという習慣がついたのではないかと思う。
- ・子どもに話を聞いてもらえるように工夫があつて、なるほどなと思った。
- ・園児に癒された。疲れも吹き飛んだ。

Q2. もう一度、保育の職場体験ができるとしたら参加しますか？

したい・・・105人

したくない・・・1人

Q3. 保育士（栄養士）になりたいと思いますか？

なりたい・・・59人

なりたくない・・・19人

悩み中・・・28人

○ 「なりたい」主な理由

- ・将来の夢が保育士なのでとてもなりたい。
- ・保育関係の仕事に就きたい。
- ・大変だけどやってみたい。
- ・今のところ第一希望です。
- ・どの子にも優しく接したいが、いけないことはしっかりと注意して、平等に接することができる保育士になりたい。

○ 「悩み中」主な理由

- ・良い仕事だと感じました。考え中です。
- ・選択肢の一つです。
- ・そんな未来もありだと思う。
- ・まだ分からないが、子どもに関わる仕事がしたい。
- ・頭がよくなったら。
- ・なりたいとは思うけど、すごく大変だから心配。
- ・体験前より保育士の仕事に興味を強く持つようになった。

○ 「なりたくない」主な理由

- ・保育士になってみたい！！というのはあるが、大学進学後、公務員になりたい。

Q4.保育士になるためにはどのような勉強が必要だと感じましたか？

専門学生

- ・子供の発達段階に合わせた関わり
- ・自分自身が子供を楽しませるために沢山の知識を習得したい。

高校生

- ・子ども達がかかる病気や体のこと
- ・ピアノ
- ・いろんな場面で対応できる応用力
- ・子どもとのコミュニケーションの取り方
- ・子どもに関する基本的な知識
- ・実習はもちろん、技術や色々な体験談を聞いたりすること。
- ・子どもの心理学(子どもの立場になって考え、気持ちに寄り添うことは大事だと感じた。etc.)
- ・子どもの発達
- ・正しい言葉づかい
- ・注意の仕方、褒め方
- ・歌
- ・折り紙
- ・安全
- ・手作り玩具の作り方

中学生

- ・子どもと話ができること。
- ・子どもの身の回りの世話をすること。
- ・子どもとしっかり遊べるように運動をすること。
- ・ピアノ
- ・読み聞かせ
- ・折り紙
- ・食事(栄養)について
- ・子どもがなりやすい病気
- ・怪我の応急処置
- ・子どもの気持ちをしっかりと理解し、一人ひとりとしっかりコミュニケーションが取れることが大切。子どもの事をしっかりと学び、きちんと向き合えるような勉強が必要。
- ・その場に合った話し方や解りやすく伝わりやすい教え方。
- ・非常時の対応
- ・一人一人の個性を見分ける力をつけることや、個性を伸ばしてあげるための勉強などが必要。
- ・大学に行って資格を取る
- ・保護者とのコミュニケーションの取り方
- ・短気はダメ。
- ・声は高く。
- ・神楽
- ・個人情報管理
- ・健康かどうかを見分けること。
- ・自分はもちろん、周り全体が見られること。
- ・恥ずかしながら自分の気持ちが言えること。
- ・福祉について
- ・教育について

Q5. 将来、子どもが出来たら保育園・こども園に預けたいと思いますか？

思う・・・101人

思わない・・・1人

未定・・・4人

「思う」 主な理由

- ・職場体験した保育所に預けたいと思う。
- ・保育園に預けて、4歳くらいになったら幼稚園に預けたい。
- ・子供の将来にもつながる教育をしていると思うので預けたい。
- ・大人になったら仕事が大変になるだろうから、預けたい。
- ・安心できる。
- ・早い時間、遅い時間に見てもらえて働ける。
- ・マナーなどが教えてもらえる。
- ・友達と関われる。
- ・行事などいろいろな体験ができる。

「思わない」 主な理由

- ・子どもがとても好きなので自分で育てたい。

「その他」 主な理由

Q6. 将来、島根で子育てをしたいと思いますか？

思う・・・82人

思わない・・・6人

迷っている・・・18人

「思う」 主な理由

- ・自然豊かな場所で子育てをしたい。
- ・出身地で子育てしたい。
- ・都会に比べ、島根は安全だと思う。(交通、治安、災害面で)
- ・安心できる。
- ・体験した保育園のような保育園に預けたりして、島根で子育てしてみたい。
- ・自然が多くて園庭が広いところがいいと思った。
- ・ふるさとで子育てできると嬉しいと思う。しかし、今の島根県は高齢者問題など沢山の問題を抱えている。一つ一つ解決していきもらい、子育てのしやすい島根であってほしい。子育てで誇れる島根になってほしい。
- ・子育ては島根でしたい。
- ・近所の方との関わりを大切にしていきたい。
- ・自分の育った場所で、子ども達にいろいろ教えてあげたい。
- ・この島根で楽しい子育てに励みたい。

「迷っている」 主な理由

- ・子育ては島根がいいが、自分は都会に住みたいのでまだわからない。
- ・できるだけ環境の良いところで子育てしたい。

「思わない」 主な理由

- ・将来は県外に住む予定。

ま と め

アンケート結果をご覧になられていかがでしたでしょうか？

今回集計を進めていく中で感じたことは、

「学生達は本当に良く見ているなあ」ということです。

養成校の講師の方にお話を伺うと、学生に現実の辛い部分をどこまで伝えるべきなのかを迷うことがあるそうです。保育士という、せっかくの夢や憧れをわざわざ崩す必要はないと思いますが、学生は感想の中でも「**保育士の仕事は大変だけど、とてもやりがいのある仕事でした**」と、こちらの心配をよそに、現実としっかり向き合ったうえで保育士への憧れを抱いているようでした。

また、非常に多くの学生がもう一度機会があればぜひ参加したいと言ってくれたことはうれしい反応でした。「**実際に体験してみて保育士という仕事が将来の選択肢の一つになった**」という意見をみて、保育の職場体験は、学生にとっても私たちにとっても有意義なものになっていることが集計結果から見えてきました。

将来の保育利用についてと島根県での子育てについては、意外と島根県人気が高く、人口減少の最中であって嬉しいニュースになりそうです。今後も引き続き島根県での保育の質の向上に向けてみんなで力を合わせていきたいですね。

この結果は保育士さんにとってもモチベーションアップにつながるような内容でしたので、広く周知していただけたらと思います。

最後に、今回のアンケートにご協力いただいた各施設の皆様と、学生の皆様に感謝申し上げます、アンケートのまとめとさせていただきます。ありがとうございました。

島根県私立保育連盟
調査部部长 緋川 浄

